

第 42 回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：令和 5 年 10 月 25 日（水）10 時 00 分～

場所：中井町役場 3 階 3A 会議室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
（1）中井町地域公共交通計画案について
- 4 報告事項
（1）中井町地域公共交通計画策定の策定スケジュールについて
- 5 その他
- 6 閉会

【協議事項の議事】

3 協議事項

（1）中井町地域公共交通計画案について

資料により事務局より説明。

委員： 86頁の事業2に消して、事業10を追加したということですが、全国的にも乗務員が不足しており、厳しい状況です。バスを運転できる大型二種免許については10年前が100万人でしたが、現在は80万人と約20%減になっている状況です。80万人の主な年代は50歳以上が半数以上、60%、70%以上を占めています。平均年齢も10年前は48.4歳でしたが、現在は53.4歳と10年間で5歳上がっています。このような状況の中で、2030年の7年後には日本バス協会が発表していますが、バス運転手が3割足りない状況です。3割乗務員が足りないことになると、現行の路線バスのサービスを維持するのが非常に厳しい状況で、何らかの再編をしないとイケない中で、事業2の企業送迎バスの有効活用についても、手段としては必要だと思います。地域の輸送全てについて総動員で、地域の足を守る観点からも、事業2の言葉の内容も入れた方が良くと思います。

会長： 質問を受けて、事務局でまとめて回答して頂きたいと思います。

委員： 74頁にオンデマンドバスの満足度で、大きく「不満」「やや不満」が多いのは運行区域と運行時間です。運行区域については、町外のポイントを増やして欲しい、運行時間については、日曜日や朝早く、夜遅くまで運行することを望んでいるように思います。バスなどの公共交通の利用者を増やすために重要だと思う取組みとしては、路線バスの運行本数の増加が重要だとなっています。96頁の評価指標には、これらの項目が見つからず、不満事項の対応は困難であると感じられますが、そのような解釈で宜しいでしょうか。

- 事務局： 企業送迎バスの有効活用については、企業送迎バスがどのような形で運行しているのか、乗車率がどのような状況か、基礎的な数値が町で何も持っていない状況のため、事業10として転換可能性を検討します。具体的には企業送迎バスを運行中の事業所に対し、アンケート調査等を行い、その可能性があるのか運行の実態を把握し、事業展開をしたいと考えています。
- オンデマンドバスについて、町外ポイントの追加や、運行時間帯の拡大に対する目標値ですが、町としては路線バスを幹として町外への足として、公共交通空白地域を含む不足する部分についてはフィーダー、枝としてオンデマンドバスを組み合わせることで地域公共交通を守っていくのが大きな考え方です。目標値の指標について、ぴったりとあてはまる指標はありませんが、交通結節点の機能強化として、サイクルアンドバスライドの継続的な実施やパークアンドバスライド、バス待ち環境の整備を行うことで、路線バスの維持とオンデマンドバスの活用を促していこうという考え方です。
- 委員： 直接的な事業は諦めて実施しないという考え方でしょうか。町外の乗降ポイントを増やす、あるいは運行時間を拡大すること、あるいは路線バスの運行本数を増やすようお願いすることは数値として求めないということですか。
- 事務局： 路線バスの運行本数については、現行の運行本数を維持していきたいのが大きな目標です。オンデマンドバスの町外のポイントや運行時間の拡大については、事業の中でオンデマンドバスの利便性の向上や利用率の向上を記載しています。但し、町外の乗降ポイントの追加については、路線バスを堅持していきたいという考え方から、今の所、秦野赤十字病院以外は考えていない状況です。また、運行時間の拡大については、先日利用者から声を聞きましたが、土日の運行についてご指摘がありましたが、近年は運転免許返納者の増加もあるため、継続的な検討は必要と認識しています。
- 会長： 3つの視点について、向上を目指すことは現実的に難しい状況のため、現状維持をかなり頑張るとというのがストレートな回答だと理解しています。拡大を検討することになった場合、現状維持で上手くいっていれば、その次のステップとして土日運行については平日の運行時間帯の調整で、例えば利便性向上や経費が余り増加しない形について、この検討の中で含まれているという理解をしています。
- 委員： 企業送迎バスについて詳細が分からないため、検討したいということですが、出来れば事業2と事業10をミックスした形で、企業送迎バスの有効活用等を検討して頂くことも含めて記載して欲しいのが、交通事業者としてお願いします。
- 会長： 企業送迎バスに企業以外の方を混乗する可能性はどの位あるのか分からないのが現状ですが、ただ、混乗するのはかなり厳しい可能性もあるため、このような記載かと思います。例えば、事業10で転換可能性検討を転換可能性等

検討に変更し、文章の中で企業送迎バスの混乗の可能性も合わせて検討するという文言に修正したらいかがでしょうか。

事務局： 企業送迎バスがどのように運行されているのか把握していないため、このような表現にしていますが、混乗化についても検討すべき事項なため、会長ご指摘の通り、事業10について修正することは何も問題ないと考えています。

会長： 検討して頂く中の項目としては、挙げて頂く整理にしたいと思います。

委員： 路線バスとの連携強化も目標にあると思いますが、運行時間はオンデマンドバスの方が終了は早い状況のため、町外へ移動し、帰るには19時だと早いと思います。予算が可能であれば、路線バスの終了に合わせて、オンデマンドバスが運行出来ないか希望します。今回、松田町でもデマンド交通を運行開始しますが、22時まで運行となっており、1市5町に拡大したいと町長が発言されています。中井町も先行してオンデマンドバスを運行しているので、路線バスとの連携強化として運行時間が合わせることが出来ないか、交通困難地域の住民として希望します。

会長： 今のご意見はアンケート調査でもあり、計画も十分認識した上で検討していると思っています。本日の協議事項は計画案の承認で、案としてパブリックコメントを行い、その後案がなくなることになるため、パブリックコメントに進んで良いかの承認になります。

委員： オンデマンドバスについては、アンケート調査から財政負担を維持すべきとなっており、財政負担を維持しながら出来る運行を目指していく方向性かと理解しています。現状、物価高や賃金、燃料費が上昇している中で、町内の路線バスも運賃改定が7月に行われましたが、首都圏のタクシー料金も来月から10%値上げすることを発表しています。バスやタクシーの運賃が上がっている中で、オンデマンドバスの運賃についても検討すべき対象になってくると考えています。財政負担を減らすためには、利用者を増やすことも一つですが、受益者負担から利用者にも一定程度頂く考えは今後避けては通れない状況のため、値上げをしていくのではなく、収入の増加につながる施策の検討といった文言を入れて頂ければと考えています。

会長： 85頁の事業1の中にそのような文言を入れていくのか、その前の現状の中でより明確にしていくのか、どのような形が宜しいでしょうか。

委員： 長期の計画のため、計画の中で検討していくことだと思いますが、運賃値上げを目標にするのか、収入を増やすのか、収支改善なのか現状では記載がない状況で、何らか考えないと収支を維持するのは難しいと思います。

会長： 全体的な計画としてどのように考えているのかということと、計画書の中に反映するのか、いかがでしょうか。

事務局： 計画の全体の考え方としては、96頁の目標値にありますように、公共交通に係る行政負担額及び収支率として、オンデマンドバスの利用者一人当たり運行経費について現状3,841円に対し、5年後は3,800円とこれ以上増加させな

いことを記載しています。また、収支率についても若干の改善を図りたいということで、目標を掲げています。オンデマンドバスについては、利便性の向上と合わせて、利用率の向上に向けて、路線バスとの乗継による割引制度の導入やキャッシュレス決済などを計画の中で記載しています。ただ、運賃の値上げについては、正直書き込めないため、オンデマンドバスについてどのような目的で運行するのか改めて検討することが必要で、その中で収支や財政負担、料金の改定についても考える必要があるというのが事務局の考えです。

会 長： 収支率の向上については目標値に入っていますが、大事なのは収支率を上げることでなく、運行の効率化で、運賃の値上げとは限らないですが、選択肢の一つであることだと思います。バスとの運賃の兼ね合いもありますが、この計画の中であえて書かなくても良いと思います。自然と望ましい運賃水準について議論され、改定が必要な場合は改定されると思うので、改定が必要まで記載しなくても良いと思います。運賃制度を検討するには、割引する一方で、運賃を値上げするというのもあり得るので、発言があった検討項目を排除している訳ではないため、現状でも概ね記載されていると思います。パブリックコメント後でも修正も可能なため、案について決を取ることで宜しいでしょうか。本日の意見について修正するという前提で、案として承認するということが宜しいでしょうか。

－承認－

4 報告事項

事務局： 参考資料について説明

5 その他

会 長： その他として、事務局いかがでしょうか。

事務局： 特にありません。

会 長： 発言がなければ、後は事務局お願いいたします。

事務局： 長時間に渡り、ありがとうございました。以上を持ちまして、第42回中井町地域公共交通会議を修了とさせていただきます。第43回については、主に地域内フィーダー系統の国庫補助金の事業評価のため、今の所、書面での開催を予定しています。本日協議頂いた地域公共交通計画については、スケジュールに沿って進めていきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。本日は地域公共交通計画についてご協議頂き、大変ありがとうございました。以上で閉会とします。

以 上